

令和5年度 東京都立深沢高等学校経営計画

東京都立深沢高等学校
校長 佐久間 克夫

1 目指す学校

スクール・ミッション

建学の精神である「清純・明朗・強健」の校訓のもと、「自己実現のために自ら学び自ら考え行動する人間の育成を図るとともに、人権尊重の精神を涵養する」を教育目標とし、「キャリア教育の深沢」として、一層進展させたキャリア教育などの教育活動を通じて生徒一人一人に社会貢献の志を育み、真に社会人として自立した人間を育成します。

スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー【生徒育成方針】

基礎・基本を身に付けさせ、主体的に考えさせる授業を行い、学校活動の全てがキャリア教育と理解する。また、規律ある生活指導を行い、人権意識を高めていく。

(2) カリキュラム・ポリシー【教育課程編成・実施方針】

習熟度別授業、少人数編授業の活用、ICT機器等の活用で言語活動の充実を通し、自主的に学ぶ環境を維持する。また、週末の課題、講習、補修を継続的に行い高い目標に立った進路実現につなげていく。

(3) アドミッション・ポリシー【生徒募集方針】

教育目標を理解し、本校を志望する目的が明確である生徒
自己実現に向けて自主的に考え、自発的・積極的に努力する生徒
礼儀やマナーを守り、身だしなみを整え、日々の授業を大切に、意欲的に取り組む生徒
様々な検定や資格を積極的に取得しようと考えている生徒
特別活動、部活動、行事に積極的に取り組み入学後も継続して取り組む意思のある生徒

2 中期的目標と方策

(1) 学習指導

落ち着いた学習環境を整え、「規律ある授業」「分かる授業」を実施することにより、生徒に学習内容の基礎・基本を定着させ、更に学力の向上を図るとともに、将来社会で活躍するために必要な力を育成する。

(2) 進路指導

学習、生活、特別活動におけるキャリア教育の成果を基盤として、生徒一人一人に将来を見通した進路意識を育て、社会人、職業人としての自覚を育てるとともに、高い目標に立った進路希望を実現する。

(3) 生活指導

日々の挨拶や身だしなみ、時間遵守、規律を守る等の指導の積み重ねを通して、ルールやマナーを遵守する規範意識を身に付けさせるとともに、他者を尊重する態度を育成する。

(4) 特別活動

生徒一人一人が自分の特性を生かして活躍し、自己肯定感を味わうことができるとともに、社会に出て通用する「人間力」が身に付くように、ホームルーム活動や学校行事、部活動、生徒会活動を計画、実施する。

3 今年度の取組目標と具体的方策

(1) 教育活動の目標と方策

ア 学習指導

【目標】

- ①基礎・基本の定着と「主体的・対話的で深い学び」、「考えさせる授業」の実現に向けた授業力の向上
- ②教科横断型の授業展開を意識した組織的な指導の実践
- ③自主的に学ぶ態度の涵養に向けた学習体制の構築

- ③授業に臨む姿勢を育成するための、授業規律の徹底と落ち着いた学習環境の維持
- ④高度に情報化した社会で活躍できる人材育成のための、デジタル教育の充実
- ⑤観点別評価による適切な学習状況の把握と支援の充実

【方策】

- ①「3年間を見通したキャリア教育計画」に対応した年間授業計画の作成
- ②習熟度別授業や少人数制授業による、生徒の課題に応じたきめ細やかな指導の実践
- ③指導教諭による模範授業への参加や教員相互の授業見学等の積極的導入
- ④進路実現に向けた基礎学力の定着のための、週末課題の実施
- ⑤生徒の習熟度に応じた、継続的な補習・講習の実施
- ⑥ICT機器や学校図書を積極的に活用したわかりやすい授業の実践

イ 進路指導

【目標】

- ①「3年間を見通したキャリア教育計画」に基づいた計画的な進路指導の実施
- ②生徒の自己理解の深化と自己実現能力の向上に向けた指導の実践
- ③ステップアップ推進指定校として、「将来の自分」を早い時期から意識する教育の実践

【方策】

- ①「今⇄未来手帳」をキャリアパスポートとして有効活用
- ②ホームルームや総合的な探究の時間、人間と社会の時間、面談等の活用
- ③進路指導部・学年・各分掌が連携した組織的なキャリア教育の実施
- ④国際ロータリークラブとの連携によるインターンシップの実施
- ⑤インターンシップ事後指導における「ポスター発表会」の実施

ウ 生活指導

【目標】

- ①お互いの人権を尊重し、他者を思いやる心の育成
- ②基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成
- ③安心・安全な学校、落ち着いた学校環境の実現
- ④特別な支援を必要とする生徒に対する効果的な指導の実践

【方策】

- ①将来の社会の形成者を育成する観点での生活指導の実践
- ②基本的な生活規律（身だしなみ、遅刻、早退等）を確立させるための、校門指導及び校舎内巡回指導等の組織的な取組
- ③「都立高校生活指導指針」に基づく「身に付けさせる規律・規範」、「SNS学校ルール」の周知・徹底
- ④いじめ・体罰の未然防止及び自殺総合対策大綱に基づくSOSの出し方に関する教育の組織的な取組
- ⑤特別支援教育コーディネーターを中心とした、スクールカウンセラーや専門家医との適切なアドバイスにおける組織的な取組
- ⑥清掃活動やリサイクル活動、ゴミの分別指導と校内美化の推進

エ 特別活動・部活動

【目的】

- ①学校生活に対する目的意識と帰属意識の醸成
- ②体罰や暴力的指導の根絶
- ③社会連帯の精神と責任を重んじる態度の育成

【方策】

- ①学校行事や部活動のより一層の活性化
- ②「部活動ガイドライン」に基づいた練習計画に則った部活動指導の実施
- ③地域の行事等への積極的な参加
- ③生徒会活動の充実と、地域と連携したボランティア活動の実施

オ 健康づくりの推進

【目的】

- ①生徒の健康の保持増進と地域・家庭と連携した健康教育の推進
- ②教育相談体制の確立と生徒一人一人の状況に即した組織的対応
- ③心のケアが必要な生徒を見逃さないきめ細やかな指導
- ④体力向上・健康づくりの推進と活気ある学校づくりの実現
- ⑤毎日健康でいられることの重要性の認識

【方策】

- ①学校保健計画に基づいた、保健指導、ホームルーム運営
- ②スクールカウンセラー及び特別支援コーディネーターを中心とした生徒相談体制の組織的運営
- ③不安を抱く生徒に対する、Teamsを利用した連絡体制の整備教化
- ④「TOKYOACTIVE PLAN for students」に基づいた、保健体育授業・体育的行事・課外活動の運営
- ⑤感染症等予防指導の徹底

カ 学校経営

【目的】

- ①経営方針の徹底による組織的な対応力の向上
- ②教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの推進
- ③経営企画室における業務の適正化と充実化

【方策】

- ①企画調整会議を学校経営の中心に位置づけた学校運営
- ②「学校における働き方改革推進プラン」に基づいた、勤務体制の確保
- ③必要に応じた産業医との面談と健康相談の実施
- ④経営参画ガイドラインに基づいた、業務の執行
- ⑤計画的な事務執行による、予算の有効活用

キ 地域連携

【目的】

- ①地域交流や地域貢献の積極的推進
- ②大学等との連携強化
- ③地域と自他の生命尊重を基盤とした生徒の健全育成推進

【方策】

- ①奉仕活動・部活動を通じた近隣小学校・中学校及び地元商店街との積極的交流
- ②「深沢進路の日」の更なる充実
- ③警察や消防署と連携を図った、防犯や施設の安全体制の整備

ク 募集・広報活動

【目的】

- ①保護者、中学生やその保護者、地域の方々における本校の教育活動への理解促進

【方策】

- ①ホームページにおける日常の教育活動の発信
- ②授業DVDの作成・活用による、本校の学習状況の公開
- ③学校説明会や中学校及び塾訪問等の組織的な実施

ケ 防災・安全

【目的】

- ①「自助」・「共助」の精神育成
- ②安全に対する意識の向上

【方策】

- ①防災訓練や避難訓練を通じた、防災に対する校内整備の確立
- ②防災訓練やセーフティ教室等における、警察や消防署等との連携強化

コ 周年行事

【目的】

- ①創立60周年に向けた、記念式典、記念行事、記念誌、HPによる本校の教育活動の紹介

【方策】

- ①今年度実施予定の、創立60周年記念式典の実施
- ②これまでの取組の検証と、周年行事、記念誌等の作成についての検討

(2) 重点目標と方策

生徒の無限の可能性を引き出すために、今年度の取組目標のうち以下を重点目標とする。

ア 学習指導の充実

基礎・基本を身に付けさせると同時に、「主体的・対話的で深い学び」「考えさせる授業」の視点に立った授業を展開していく。

- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得→個に応じた指導や習熟度別指導などきめ細かな指導
- ・高度に情報化した社会で活躍できる人材を育成→多様な学習を実現できるデジタル教育の推進
- ・新たな教育課題に対応する教員の資質・能力の向上→校内研修の充実

【数値目標】

・生徒の学校満足度	85%
・長期休業中の補講・講習の数	30講
・校内研修の実施	25回
・体罰・不適切な指導	0件

イ キャリア教育の充実

学習指導、進路指導、生活指導、特別活動の4教育の柱すべてがキャリア教育と関わっていることを学校全体で理解し、「3年間を見通したキャリア教育計画」に基づき組織的な教育活動を推進していく。

- ・自分で考え行動し自己管理できる指導の徹底→「今⇔未来手帳」の有効活用
- ・組織的な進路指導の展開→進学希望者における学力の推移状況の分析
就職希望者における資格取得の指導

【数値目標】

・進路決定率	95%
・資格取得者（漢字検定・英語検定・パソコン検定等）	150人

ウ 生活指導

粘り強い生活指導を継続し、生徒が安心安全に生活できる環境を整える。

【数値目標】

・1日当たりのクラスの平均遅刻人数	1人
・ロッカー施錠率	100%

エ 部活動の充実

部活動を通じて、生徒の学校への帰属意識を高めるとともに、部活動で培った強い精神力等を、授業をはじめとする全教育活動に波及させる。

【数値目標】

・部活動加入率	80%
---------	-----

オ 健康づくりの推進

健康で安全な学校生活を送ることができるように、教育相談体制を一層充実させ、生徒の健全な心と身

体の育成を図る。

- ・様々な特別な支援を必要とする生徒への対応の充実⇒SCやYSWを活用した、ケース会議の開催
- ・生徒支援委員会の更なる充実

【数値目標】

・教育相談体制についての肯定的評価	60%
-------------------	-----

カ 学校経営

「学校経営指標」、「OJT診断基準」、「執務ガイドライン」、「経営参画ガイドライン」を活用し、教職員が一体となって学校運営に当たっていく体制を構築する。

- ・教職員の心身の健康の維持向上及びライフ・ワーク・バランスの実現⇒教職員の在校時間の適切な管理
- ・教育公務員としての使命と職責の重さの自覚⇒事故防止のための、チェック体制や取り扱い方法の徹底

【数値目標】

・年間年休取得	15日
・自律経営推進予算のセンター執行割合	80%
・個人情報関係の事故	0件

キ 地域連携

地域との連携を一層深め、地域社会のニーズを的確に把握し、地元の信頼を高める教育活動を取り入れる。地域住民への施設開放や公開講座を通して教育資産を活用する。

ク 募集・広報活動

ホームページや学校説明会の充実を図り、広報活動を活性化させ、募集対策の徹底を図る。

【数値目標】

・中学校・塾等への訪問校数	150校
・学校説明会への来校者数	600人
・ホームページの更新	300回

ケ 防災・安全

施設・設備の安全管理、非常時の学校危機管理体制を整備する。